

さあはじめましょう、LEDのブルーライト対策。

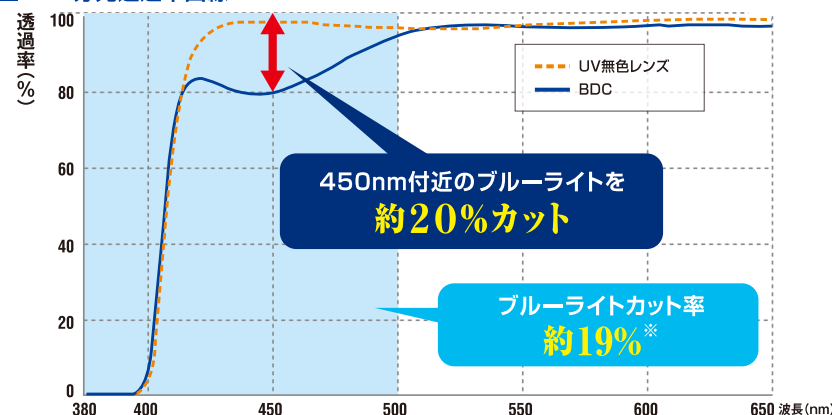
LED光源で最も強い450nm付近のブルーライトをカットし眼を守る

眼の負担を軽減するブルーライトカットコーティング

BLUE LIGHT DAMAGE CONTROL

ブルーライトダメージコントロール(BDC)

■BDC分光透過率曲線



*屈折率1.60平板中心厚2mmの場合
 ※ブルーライトカット率は、「日本医用光学機器工業会青色光カットに関するガイドライン」に準ずる。

■ブルーライトカット効果により、まぶしさ、チラツキを軽減



ブルーライト以外の

有害光線も効果的にカットし美肌のための目元対策。

ブルーライトカットに加えてプラスαの快適機能を標準仕様

ダメージをトリプルコントロールします。

- ほぼ100%カット 紫外線
- 約19%カット ブルーライト
- 約50%カット 近赤外線

裏面反射UV 約95%カット

- 360°紫外線カットで眼を守る **裏面反射UVカット**
▶レンズ裏面ではね返ってくる紫外線も大幅カット。
- まぶしさやチラツキを軽減する **ブルーライトカット**
▶LED光源で最も強いブルーライトをカット。
- 健康&美肌をキープする **近赤外線カット**
▶近赤外線のカットで、シワやたるみを防ぎ目元を守ります。

まめ知識 紫外線は眼からも入り、肌のメラニン生成を促します。メラニンが増えると、シミ・そばかすの原因となります。

近赤外線は紫外線よりも肌の奥深くまで到達してシワやたるみの原因となります。紫外線の5倍の到達量。

日常にあふれるLEDのブルーライトから眼を守る



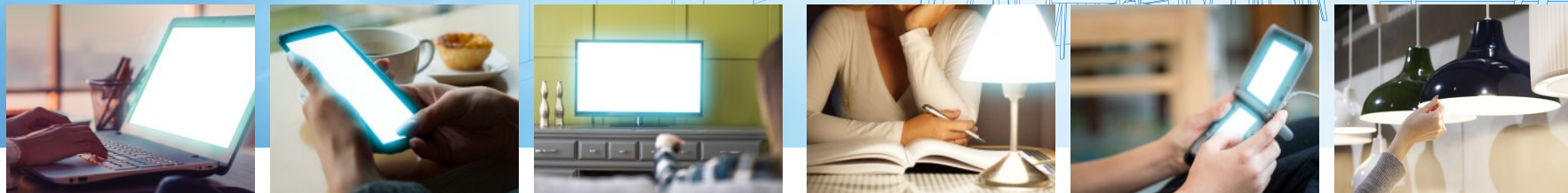
こんな方におすすめします

- 毎日スマートフォンやパソコンを長時間使用される方
- 室内などで照明の光をまぶしく感じる方
- 紫外線はもちろんブルーライトも気にされる方
- 近赤外線もカットしてお肌を守りたい方

あなたの 眼 の 負 担

ブルーライトが原因かもしれません!

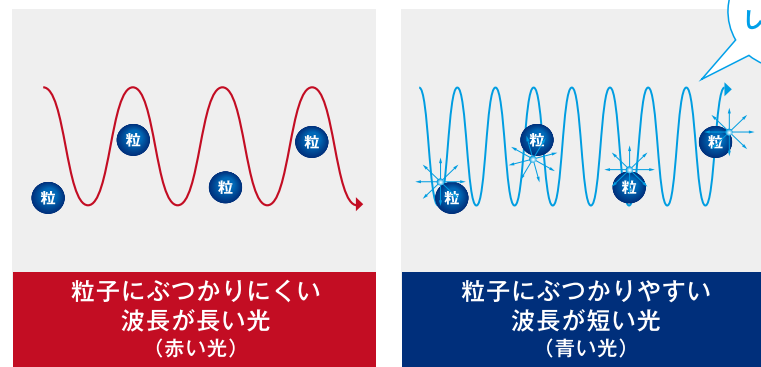
省エネ化やLED端末の普及により日常生活には
眼への負担が懸念されるブルーライト(青色光)があふれています。



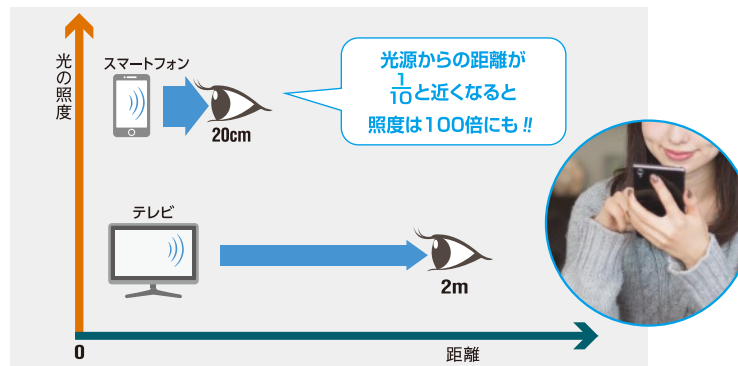
白く見える
LEDも、
ブルーライト
を発している

LEDの強い
ブルーライトは
注意が必要

「ブルーライト」は大気中のホコリや水分などにぶつかりやすく散乱しやすいため、まぶしさやチラツキの原因となり、像の輪郭がボヤケてしまいます。

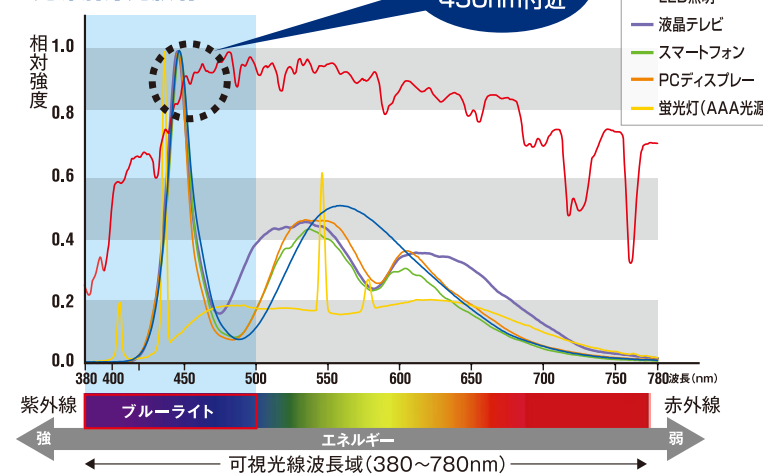


スマートフォンやパソコンのように光源と目の距離が近いLED端末ほどブルーライトの影響がより大きく長時間・直接見続けることによる眼への負担が心配されています。



ブルーライトはLED光端末の光に多く含まれ
ピークは450nm付近に集中。

光源別分光放射スペクトル



TOKAI輝度計測定値

まめ知識 LEDのディスプレイ画面は、より明るさを強調するために散乱率が高くエネルギーの強いブルーライトを発光させていると言われています。

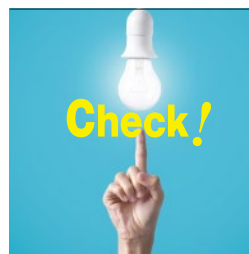
まめ知識 光の照度は距離の二乗に反比例すると言われ、光源からの距離が近いほど照度は大きくなると考えられています。

「ブルーライト」とは、

380~500nmの波長の短い青色の光のことです。目に見える光の中で紫外線に一番近く、眼への負担が心配されているエネルギーの強い光で、特にパソコン、スマートフォンなどのLED※ディスプレイの光に多く含まれています。

※Light Emitting Diode(発光ダイオード)の略

※写真、イラストはイメージです。



LEDは白く見えても ブルーライトを発している

一般的な白色LED※1は、青色LEDに黄色蛍体を組み合わせて白色光を作り出しているため、白く見えてもブルーライトの比率が高いと言われています。

※1 全てのLEDに言えることではありません。 ※2 JIS C 7550では網膜に傷害を与える可能性の強い領域として「青色光傷害作用関数」を定義しています。

LEDの強い ブルーライトは注意が必要

LEDが発するブルーライトのピークにあたる450nm付近の最も強い光は、網膜に影響を与える可能性の強い領域※2と重なるため、注意喚起されています。